



## 2. 指標設定

成果指標	指標名	年間利用者数	目標年度	H27	指標の設定理由			
	数値	66,500人			総合計画／後期基本計画において、基本施策(5-2-2)の目標としているため			
活動指標	指標	a 総合文化センターの利用者数	b	朝倉記念館の来館者数	c		d	
	数値	目標 63,000人	目標	3,500人	目標		目標	

## 3. 実績(上段・実績/下段・達成率)

成果指標名	単位	H20	H21	H22
年間利用者数	人	55,600	54,318	61,139
	%	83.6	81.7	91.9

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a 総合文化センターの利用者数	人	52,355	50,875	56,625
	%	83.1	80.8	89.9
b 朝倉記念館の来館者数	人	3,245	3,443	4,514
	%	92.7	98.4	129.0
c				
d				

## 4. 課題と対応

課題
施設の老朽化が進み修繕改修に費用がかかるようになってきている。芸術鑑賞は敷居の高いものという意識を持っている人がいる。
対応(改善点等)
総合文化センターの指定管理導入を進めながら、利用しやすい環境整備に努める。朝倉記念公園の環境整備については、地域やボランティアに協力を得る取り組みを行う。また、外に出る美術館事業を積極的に進めていく。

## 5. 事業費・・・H20～H22(決算額)、H23(予算現額)

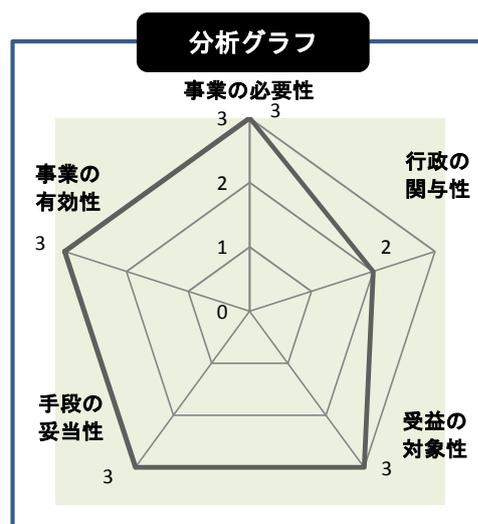
決算額(千円)		H20	H21	H22	H23
		68,347	81,801	98,263	189,878
うち経常経費		61,398	78,138	77,470	66,722
財源内訳	国費		3,663	16,212	112,664
	県費				
	市債				
	その他	9,688	9,634	10,775	9,836
	一般財源	58,659	68,504	71,276	67,378
うち経常		51,710	68,504	66,695	63,598
事業費に係る人件費		16,641	16,725	17,168	21,156

## 6. H24年度予算の方向性

方向性
減額
理由
改修工事費を除いては、削減計画に沿って執行する

## 7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 市民に芸術に触れる機会を提供したり、制作活動を行っている市民に発表の場を提供するのは心豊かな生活を送る上で必要である
② 行政の関与性	責任領域の精査	2 民間によるサービスも可能であるが利益につながらないものや公益性のあるものには行政の関与が必要である
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 広く市民に享受できている
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 目的達成のために有効な手段である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 おおむね期待したほどの成果が上がっている



## 8. 内部評価委員会評価(委員会評価)

事業の方向性	評価内容
縮小	計画的な運営管理を行うとともに、公共施設の見直し方針に則ること(徳田記念館)